

## 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

○ 開催年月日 令和3年1月25日（月）

午後1時15分 開会

午後1時54分 閉会

○ 場 所 第3常任委員会室

○ 出席委員（10名）

委員長	知名康司
委員	平安座武志
委員	真喜志晃一
委員	上里広幸
委員	石川慶

副委員長	桃原功
委員	桃原朗
委員	栄田直樹
委員	宮城克
委員	又吉亮

議長	上地安之
----	------

○ 欠席委員（0名）

○ 委員外議員（0名）

○ 説明員（2名）

基地政策部 次長	多和田功
-------------	------

基地渉外課 課長	吉村純
-------------	-----

○ 議会事務局職員出席者（2名）

庶務課長	仲村厚子
------	------

議事担当 主査	大城拓也
------------	------

○ 協議案件

米軍機の夜間飛行に伴う騒音被害について

# 基地関係特別委員会 会議録（要旨）

令和3年1月25日（月）

○知名康司 委員長 ただいまから基地関係特別委員会を開会いたします。

（開会時刻 午後1時15分）

## 【協議事項】

本件の取扱いについて

○知名康司 委員長 招集請求委員から今回の招集について説明いただきたい。

○上里広幸 委員 今回招集を求めたのは、以前から米軍機の騒音については本員に苦情が寄せられていたが、年明けから現在にかけてさらに騒音がひどくなっており、特に夜間22時以降の騒音が頻発している。市当局にも今年度1月21日時点で564件市民からの苦情が寄せられているが、1月に入ってから苦情が増加している状況である。これを受けて本市松川市長が1月14日に抗議要請を行っているが、その当日にも23時という時間に騒音が測定されており改善の兆しが無い。また、本市では16日に沖縄国際大学において全国共通テストが開催されているが、その日も23時過ぎの騒音が記録されている。この現状を踏まえ、市議会としても抗議要請を行っていくべきと考えたことから本委員会の招集を求めたものである。

○知名康司 委員長 本件の取扱いについて決定する前に市当局より現状を聴取したいと考えるがいかがか。

（「異議なし」という者あり）

○知名康司 委員長 異議なしと認めます。では、当局入室をお願いします。

（基地政策部次長、基地渉外課長入室）

○知名康司 委員長 では、当局より騒音被害の現状等について説明をおねがいたします。基地政策部次長。

○基地政策部次長 年明けから基地からの騒音がひどく、市民から多くの苦情が寄せられており、これを受けて市長も関係機関へ要請を行っている。詳細については、基地渉外課長よりご説明させていただきます。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 1月5日から夜10時以降の騒音が確認されており、苦情もその都度いただいている。騒音測定については、市内8か所に設置している測定器で測定を行っており、上大謝名を例にすると、夜10時以降90デシベル超の騒音が1月5日～9日に記録されている。また、12日には、23時57分に83.3デシベルが記録され、

13 日にも 22 時 42 分に 81.8 デシベル、22 時 46 分に 71.2 デシベル、23 時 49 分に 93.2 デシベルが記録されている。これらの状況を踏まえ、1 月 14 日に松川市長が外務省沖縄事務所、沖縄防衛局に抗議要請を行っている。抗議要請の内容としては、1 月 5 日以降 22 時超の夜間騒音が頻発しており、夜間飛行については市民生活への影響が大きいことからこれまでもその中止を求めているが、特に 12 日には 24 時近く騒音が記録されており、コロナ禍で外出自粛が求められている中での騒音は市民への配慮に欠けている旨市長より抗議要請を行っている。抗議要請の時点では 544 件の苦情が寄せられており、その中でも夜間騒音については割合が多くなっている。日米間で合意されている普天間飛行場における航空機騒音規制措置を厳格に遵守するとともに夜間 22 時以降の飛行及び地上での活動は行わないことを徹底し、それ以外の時間帯においても市民生活に最大限配慮するよう米軍へ申し入れを行っている。また、問題の抜本的解決に向け、同飛行場の一日も早い閉鎖返還と、速やかな運用停止をはじめとする返還までの間の危険性除去及び基地負担軽減を早急を実現することを要請している。

○知名康司 委員長 この件に関して質疑を許します。平安座武志委員。

○平安座武志 委員 本員も上大謝名に居住しており、12 日から 16 日にかけて夜間 24 時前に騒音があったことを確認している。同飛行場の航空機騒音規制措置には、同飛行場司令官は地域と緊密に連携を取るといった文言があり、さらに地元地域住民に騒音などに係る連絡事項を防衛局に前もって通知するよう最大限努力するとうたわれているが、12 日～16 日にかけては何らかの訓練だったものと推測するが、訓練があったのか、またそれに関する通知は防衛局を通じて市にあったのか伺いたい。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 前述の航空機騒音規制措置においては、夜間 22 時から 6 時までの夜間飛行及び地上での活動は米軍の運用上の所要のために必要と考えられるものに制限されるとされており、完全に禁止されているものではない。市としては、夜間騒音は市民生活への影響が大きいということで最大限の配慮を求めているが、米側からは夜間訓練の必要性を理解してほしい旨の話があった。市としては引き続き夜間飛行の中止を求めていく。訓練の事前通知に関しては、16 日までの間、沖縄防衛局より本市に対しての事前通知等はなかった。

○知名康司 委員長 平安座武志委員。

○平安座武志 委員 沖縄防衛局から本市に通知はなかったとのことだが、米軍から防衛局に事前通知はなかったという理解でよいか。

○基地渉外課長 防衛局から本市への通知はなかったが、米側から防衛局への通知の有無については確認できていない。

- 平安座武志 委員 そのあたりの確認が取ればよかった。次に 14 日に市長が外務省沖縄事務所、沖縄防衛局に抗議要請を行ったとのことだが、その際に抗議要請文を提出したのか伺いたい。
- 基地渉外課長 沖縄防衛局、外務省沖縄事務所に対し、市長より要請文を手交している。G7 及び米国沖縄総領事については日程の都合により郵送にて送付している。
- 知名康司 委員長 他に。桃原功委員。
- 桃原功 委員 米軍に強く申し入れを行っている旨の説明があったが、誰に申し入れを行っているのか伺いたい。
- 基地渉外課長 市長から沖縄防衛局、外務省沖縄事務所に米側へ強く申し入れるよう要請を行った。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 原因先である米軍に直接要請を行わなかった理由を伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 日程的な問題で調整がつかなかったためである。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 日程的にというのは、米側の都合がつかなかったということか。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 今回の要請は調整の結果、沖縄防衛局、外務省沖縄事務所の 2 か所に実施となった。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 新聞報道によればその 2 か所ともこれまでと同様の返答であったようであるが、静まり返った夜間における騒音は、昼間の騒音とは違い、70 デシベル程度でも非常にうるさく感じられ、市民生活に多大な影響を及ぼしている。今回の夜間騒音中止の要請に対する返答の詳細を伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 市に寄せられた苦情については、その翌日までには沖縄防衛局へ伝達しており、沖縄防衛局においてもその都度申し入れをしている。1 月 14 日に市長が行った要請に対しても、改めて米側に騒音の軽減が図れるよう努めてまいりたいとの回答があった。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 これまで同様の回答であったようである。その要請から 1 週間以上が経過するが、一向に夜間騒音が軽減された様子はない。その後、防衛局から連絡があったのか伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。

- 基地渉外課長 特に対応等について連絡はない。
- 知名康司 委員長 石川慶委員。
- 石川慶 委員 今回の要請以前に夜間騒音について要請を行ったことがあれば、その日時を伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 手元に資料がないため正確な日時はお答えしかねる。
- 知名康司 委員長 石川慶委員。
- 石川慶 委員 行ったことはあると思うが、先ほど桃原功委員からもあったように、要請を行っても夜間騒音が収まる様子がない。それについて当局の見解を伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 通常、騒音測定結果を年度で判断するが、平成30年度と令和元年度を比較すると、抗議要請の効果があつたかは定かではないが、夜間騒音は半分程度に低減している。ただ、令和2年度については現在記録中のため比較はできないが、苦情の件数も伸びていることから騒音は前年度と比較すると増えているものと考え。市としては、夜間騒音は市民生活への影響が大きいことから、苦情の件数も増えてくるといふ状況を伝えながら、航空機騒音の低減に努めてまいりたい。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 平安座武志委員も質問していたが、夜間に行われているのは訓練なのか。本員は現在真栄原に居住しており、夜間飛来する飛行機が南側から着陸しているのを確認しているが、あれは北部訓練場又は岩国基地等から飛来しているものなのか。訓練内容等把握しているのか伺いたい。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 夜間訓練ということは把握しているが、どこからの飛来なのかは把握していない。おそらく県内の施設ではないかと推測はしている。
- 知名康司 委員長 桃原功委員。
- 桃原功 委員 基地政策部の仕事としてもっと踏み込んで情報収集すべきではないか。岩国基地から21時に発った場合には23時を過ぎることになるのでそういった運用は見直せと具体的に要請を行ったほうかいいのではないか。見解を伺う。
- 知名康司 委員長 基地渉外課長。
- 基地渉外課長 市としても訓練をしたとしても夜22時までには終えてほしいという要請はしている。
- 知名康司 委員長 基地対策部次長。
- 基地対策部次長 訓練の内容について確認したいと考え、沖縄防衛局又は米軍に問い合わせたことはあるが、運用の面で公表できないという回答しか返ってこない状

況である。今後も情報収集に努めていくが、現在のところそういう回答しか得られていない。普天間基地以外で訓練をした後に帰来するのが夜 22 時以降になると、どうしても夜間騒音被害が発生することから、それを改善できないか申し入れているが改善されていない。市としては今後も申入れを続けていく。

○知名康司 委員長 平安座武志委員。

○平安座武志 委員 これまでの意見書・決議の中で夜間騒音被害についてのものがあったがどうか確認したい。また、日米で合意されている騒音防止協定について、最小限に制限されるという文言があり、軍の事情もあって完全に禁止することは難しいと思うが、協定には、事前通知を行うよう最大限努力するとあるが、それを努力規定ではなく遵守させられるよう協定の見直しを国に求めたことはあるか伺いたい。

○知名康司 委員長 事務局。

○議会事務局 意見書・決議については、確認して報告したい。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 協定の見直しを求めたことはなく、遵守するよう求めている。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○平安座武志 委員 事前通知については、努力規定の見直しを要請したほうがよいと考える。国に要請を行ったほうがいいのではないか。

○知名康司 委員長 基地渉外課長。

○基地渉外課長 騒音規制措置について、それが可能であれば市民生活への影響が改善されると考えることから防衛局とも相談させていただきたい。

○知名康司 委員長 ほかに質疑もないようなので、当局は退室をお願いします。ありがとうございました。

(基地政策部次長、基地渉外課長退室)

○知名康司 委員長 当局の説明を伺い、米軍機の夜間飛行に伴う騒音被害について本委員会で取り扱うべきか、会派持ち帰りとするか各委員の意見を伺いたい。石川慶委員。

○石川慶 委員 持ち帰りとなった場合、意見書の文案等はあるのか。

○知名康司 委員長 桃原功委員。

○桃原功 委員 この件に関してはスピーディーな対応が必要と考える。招集要請者の上里委員が文案を作成しているのであれば、今回で取り扱いを決定し、文案調整のため会派持ち帰りとしたほうがよいと考える。

○知名康司 委員長 では、まずは取り扱うか否かを確認いたしたい。

○宮城克 委員 調整のため休憩をお願いします。

○知名康司 委員長 休憩いたします。(午後 1 時 47 分)

○知名康司 委員長 再開いたします。(午後1時49分)

まずは招集請求者である上里委員が作成した文案を配布し、その上で、会派持ち帰りとし、今回の件を委員会で取り扱うかどうか、そして取り扱う場合は文案を会派内で検討していただきたい。それに御異議ありませんか。

(「異議なし」という者あり)

○知名康司 委員長 御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

**【協議結果】**

文案配付の上、会派持ち帰りとし、今回の件を本委員会で取り扱うかを検討し、取り扱う場合は文案検討を行うことに決定した。

---

○知名康司 委員長 以上をもちまして、本日の委員会を閉会いたします。

閉会時刻 (午後1時54分)